

大学院カリキュラム・マップ

【ワークシート:DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

機械システム工学教育プログラム

ディプロマ・ポリシー(DP)

【1】学習教育目標(1)

専門分野での問題解決の経験及び知識の習得による、基礎学習力、創造力、実践的な展開力・応用力

カリキュラム・ポリシー(CP)

【3】学習教育目標(1)を達成するために履修する科目一覧

【2】学習教育目標(1)を達成するための取組  
 <授業の構成(教育内容・方法)、科目間の順次性・関連性、科目名>

機械工学及びその関連分野の専門的な教育を系統的に行うようにカリキュラムを編成している。原則として、1年次前期で機械工学全般に関わる高度の専門知識を総合的に履修し、1年次後期と2年次で各自の専門に関して体系的な知識を修得することを念頭においている。また、特別演習や特別研究をとおして、問題解決能力、数理解析能力、応用能力等を養うことができる。授業等において、英語による教育を受け、国際的な視野に立った専門的な能力が養える。そして、以上のことに関連した「学習教育目標の達成」のための科目が設定されている。

区分 (選択式)	科目番号	科目名	単位	受講年次 (選択式)	学期 (選択式)	授業形態 (選択式)
必修		機械システム工学特別研究Ⅰ	1.5	1	前期/後期	演習+実験
必修		機械システム工学特別研究Ⅱ	1.5	1	前期/後期	演習+実験
必修		機械システム工学特別研究Ⅲ	1.5	2	前期/後期	演習+実験
必修		機械システム工学特別研究Ⅳ	1.5	2	前期/後期	演習+実験
選択必修		結晶成長理論Ⅰ	2	1	後期	講義
選択必修		複合材料学特論	2	1	前期	講義
選択必修		材料力学特論	2	1	後期	講義
選択必修		破壊力学特論	2	1	前期	講義
選択必修		加工システム工学特論Ⅰ	2	1	前期	講義
選択必修		腐食防食特論	2	1	前期	講義
選択必修		塑性力学特論	2	1	前期	講義
選択必修		弾性力学特論	2	1	後期	講義
選択必修		機械基礎工学特論Ⅰ	2	1	前期	講義
選択必修		機械基礎工学特論Ⅱ	2	1	後期	講義
選択必修		熱工学特論Ⅰ	2	1	前期	講義
選択必修		熱工学特論Ⅱ	2	1	後期	講義
選択必修		エネルギー変換工学特論Ⅰ	2	1	前期	講義
選択必修		流体力学特論Ⅰ	2	1	前期	講義
選択必修		流体力学特論Ⅱ	2	1	後期	講義
選択必修		伝熱工学特論Ⅰ	2	1	後期	講義
選択必修		伝熱工学特論Ⅱ	2	2	前期	講義
選択必修		乱流計測学特論	2	1	前期	講義
選択必修		流体機械学特論	2	1	前期/後期	講義
選択必修		移動現象特論	2	1	前	講義
選択必修		ソフト制御工学特論	2	1	前期/後期	講義
選択必修		自己組織系特論	2	1	前期	講義
選択必修		機械信号処理工学特論	2	1	前期/後期	講義



ディプロマ・ポリシー(DP)

【1】学習教育目標(2)

研究成果等のプレゼンテーション力、英語等での対話力、数理解析力、洞察力

カリキュラム・ポリシー(CP)

【2】学習教育目標(2)を達成するための取組

機械工学及びその関連分野の専門的な教育を系統的に行うようにカリキュラムを編成している。原則として、1年次前期で機械工学全般に関わる高度の専門知識を総合的に履修し、1年次後期と2年次で各自の専門に関して体系的な知識を修得することを念頭においている。また、特別演習や特別研究をとおして、問題解決能力、数理解析能力、応用能力等を養うことができる。授業等において、英語による教育を受け、国際的な視野に立った専門的な能力が養える。そして、以上のことに関連した「学習教育目標の達成」のための科目が設定されている。

【3】学習教育目標(2)を達成するために履修する科目一覧

Table with columns: 区分(選択式), 科目番号, 科目名, 単位, 受講年次(選択式), 学期(選択式), 授業形態(選択式). Rows include courses like 機械システム工学特別演習 I-IV, 結晶成長理論 I, 複合材料学特論, etc.

